

新年を迎えて



岡崎労働基準監督署西尾支署長

堀 口 健 一

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、労働基準行政の推進に格別のご理解とご協力をいただきましたことを厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、日本経済は依然として厳しい状況下にあります。

この様な状況において、労働基準監督署としても新型コロナウイルス感染症の影響と経済の動向を見ながらできる限りきめ細やかな行政展開を行って参りました。

昨年末から感染者数が減少し、ウィズコロナの下、経済を回復に導くため、各種施策が打ち出され、その回復過程において、長時間労働や労働災害発生のリスクが懸念されます。

昨年10月には最低賃金が大幅に改定されたことにより、最低賃金引上げを含めた企業内全体の賃上げの機運の醸成にも取り組まなければなりません。このためには、生産性の向上は喫緊の課題であり、その支援を含め働き方改革を推進する観点から当支署内に「労働時間・相談支援コーナー」を本年も引き続き開設し、できる限り事業主の方に寄り添った対応を行って参りたいと考えております。

また、働き方改革におけるポストコロナの「新しい日常」に対応した働き方として、時間や場所を有効に活用できる良質なテレワークの定着の推進も図ってまいりますので、積極的な活用をご検討していただければと思います。

生産性を向上しながら労働時間の短縮等により労働環境を整備することは、仕事と生活の調和がとれた社会を実現していくために必要ですので、働き方改革の推進及び取組について、よろしく申し上げます。

当支署管内の労働災害件数は増加しましたが、会員の皆様方のご尽力の結果、重篤に至る内容の件数は減少し、死亡災害の発生はありませんでした。本年も引き続き死亡災害を含む重篤な災害の防止について、危険源の「特定」と「何故？を大切にした伝承」を重点に関係機関と連携を図り対策を講じてまいります。

本年も、西尾地区における労働者の方が安全で健康に働くことができるよう当支署としてわかりやすく丁寧な発信に努め、取組んでいく所存ですので、引き続きご

支援ご協力を賜りますよう、よろしく申し上げます。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症の影響は先行き不透明であり、感染拡大防止と経済活動の両立は難しい課題ではありますが、会員の皆様方のご多幸とご健勝を心より祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。